

北上市総合計画 2021～2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和6年度）

基本方針	2.未来を創る人づくり
基本施策	2-1.変化する社会を生き抜く「知・徳・体」の育成
関連するプロジェクト	2.学びの改革プロジェクト

国籍、心身の状態、家庭環境等を問わず、すべての児童生徒の「知・徳・体」を育てるため、豊かな自然、伝統ある郷土文化等、地域の様々な資源を活かし、教育機関との連携強化を図りながら、充実した学校教育を展開します。また、学校給食による食育を推進し、子どもたちが積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質や能力を身に付け、生涯を通じて健康・安全な生活を送る基礎を培います。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
A

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
3

No.	担当 部署等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
1	教育 部	●	確かな学 力と情報 活用能力 の育成	新しい学習指導要領に基づき、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に取り組み、言語能力の育成・外国語教育・プログラミング教育・理数教育等の充実を図る。また、児童生徒一人に1台タブレット端末の整備を進めることで、情報を整理・比較・発信・伝達したり、共有したりする情報活用能力の向上を図る。	①②	指標に 基づく 事実	①総合学力調査の結果からは、小学校では期待値をわずかに下回る平均正答率であった。 ②中学校では、期待値を下回る平均正答率であった。	B	指標に 関する 内容	市教育委員会において学力向上に向けての課題分析が甘く、授業改善の視点を学校に明示できなかった。	指標に 関する 内容	総合学力調査に限らず、全国学力調査や県学力調査において獲得した知識を活用する問題や、他者の考えをもとに自分の考えを再構築する問題など、より思考力や判断力、表現力などを問う問題構成となっており、ただ知識を身につけさせるだけでは正答率が伸びていない。	◇各種学力調査結果をもとに、目指すべき資質・能力を明らかにした教師の授業改善を推進する。また、児童生徒のつまずきに対して、具体的支援策を講じていく。目標と一体化された評価問題の工夫により、学力の定着状況を把握し、より生きて働く学力の定着を目指す。 ◇端末の更なる活用推進に向け、OJTによる校内での研修の実施や運用定例会を継続実施する。
						指標以外 の事実	児童生徒の一人一台端末の授業での活用のほか、家庭への持ち帰りによる活用を進めることができた。ただし、学校、教員による使用頻度の差が大きい。		(B)	指標以外 の内容	・一人一台端末の活用に向け、教員対象の研修を実施し、活用の幅を広げることができた。 ・毎月の運用定例会を実施することで、活用状況を把握し、個別の対応を行った。 ・各学校で発生した一人一台端末の運用にかかわるトラブルに対し、契約している通信業者のサポートセンターに迅速に対応させた。	指標以外 の内容	
2	教育 部	●	不登校児童生徒への 対応	不登校児童生徒の個々の状況を把握した上で、不登校児童生徒やその保護者の心情に寄り添い、丁寧且つ適切な学習支援及び相談に取り組むとともに、スクールソーシャルワーカー(SSW)等による学校以外の関係機関との連携強化を図る。	③④	指標に 基づく 事実	小中学校とも、前年度より不登校出現率が増加した。結果が分かっているR5年度の県、全国の不登校出現率と比較した場合、小中学校ともに全国を下回り、県を若干上回っている。 (R5出現率①小学校:市1.84・県1.58・国2.14、②中学校:市5.95・県5.51・国6.71)	B	指標に 関する 内容	小学校・中学校ともに、学校不適応を起こす児童生徒に対し、早期発見、組織的な対応を行っているが、不適応にかかわる個々の要因が複雑化しており、具体的な解決に至らないケースが多い。また、学校とのつながりが希薄になるケースも多くなっている。	指標に 関する 内容	個々に様々な要因があるが、医療機関から登校刺激を行わないよう指示が出される場合があり、教員の取組だけでは、解決が困難である。	◇学校においては、早期発見、組織的な対応を継続実施する。 ◇学びのサポートセンターなないろやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、その他関係機関と連携しケース会議を実施する。 ◇教育相談員やスクールソーシャルワーカーを活用し、個別の保護者対応や学校サポートを行う。 ◇端末での健康観察やリモート学習を積極的に推奨し、当該児童生徒とつながりを保つとともに、学びの保障を行っていく。
						指標以外 の事実	R5年度から新たにスクールソーシャルワーカー(SSW)を1名任用し、関係機関と連携して不登校や支援を必要とする家庭への対応数を増やすことができた。		(B)	指標以外 の内容	学校や社会福祉協議会等と連携をとり、定期的に保護者面談や家庭訪問を実施できるケースが増えてきている。	指標以外 の内容	
3	教育 部	●	グローバルな人材の育成	外国語を学ぶ機会、科学に触れる機会の充実を図り、児童生徒における英語力と科学力の向上に取り組む。	⑤	指標に 基づく 事実	英検補助対象受検者数における合格者の割合は、期待値と同程度の数値となっており、その中でも難易度の高い準2級や2級の合格率は上がっている。	A	指標に 関する 内容	・英検3級相当の英語力をつけることを目標に掲げ、達成に向け学校への周知を図った。 ・学力ステップアップ事業を通して外国語教育について小中連携が図られた ・H24年度からステップアップ英語講座を継続して実施している。	指標に 関する 内容		◇北上市英語力推進アクションプランの教職員に対しての周知を図る。 ◇小学校外国語及び中学校英語の授業改善や教育研究所英語力向上部会による指導法の研究推進を図るとともに、英語検定補助事業、ステップアップ英語講座の継続実施とその充実によりCEFR A1レベルの英語力を身に付けた生徒の育成を目指す。 ◇各事業の内容を見直しながら継続実施し、外国語や科学に触れる機会を創出する。
						指標以外 の事実	・イングリッシュ・キャンプ(中学生対象)、イングリッシュ・ワールド(小学生対象)、ステップアップ英語講座、オンライン英会話講座を実施した。 ・小学生4～6年生を対象とした科学実験教室では、定員数を上回る申し込みがあった。		(A)	指標以外 の内容	・チラシ配布など周知の強化を図った。 ・申し込みをQRコードの読み取りで行えるようにするなど簡略化を図った。	指標以外 の内容	

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇：R7/◆：R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
4	教育 部		食に関する自己管理能力の育成	食生活による肥満等への指導や、栄養教諭等が具体的に授業に参画することにより、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進する。	⑥⑦	指標に基づく事実	・市内の小中学生の児童・生徒の肥満やせ状況は、小学生はR5年度の12.68%から12.09%と微減しており、中学生もR5年度の11.22%から10.87%と減少している。	B 					

凡例 ●実績値 —期待値

指 標 ①		指標の説明								
総合学力調査における平均正答率の全国比〔2教科(国・算)小学4年〕	教育部	%		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績値			103.9	100	100	103.6	98.9	101		
期待値 ※R7は目標値			103.9	103.8	103.6	103.5	103.3	103.2	103.0	
備 考										
指 標 ②		指標の説明								
総合学力調査における平均正答率の全国比〔5教科(国・数・社・理・英)中学1年〕	教育部	%		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績値			96.1	100	97.6	97.2	94.9	94.9		
期待値 ※R7は目標値			96.1	96.9	97.7	98.6	99.4	100.2	101	
備 考										
指 標 ③		指標の説明								
市内小学校在籍児童数に占める不登校児童の割合(年間30日以上) ※全国が県のうち低い値を下回る%	教育部	%		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績値			0.54	0.57	0.86	1.22	1.84	2.07		
期待値 ※R7は目標値			0.55	0.62	0.84	1.13	1.58			
備 考			県の値	県の値	県の値	県の値	県の値	国・県出現率未公表	※	
指 標 ④		指標の説明								
市内中学校在籍生徒数に占める不登校生徒の割合(年間30日以上) ※全国が県のうち低い値を下回る%	教育部	%		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績値			3.07	3.24	3.93	4.93	5.95	6.68		
期待値 ※R7は目標値			3.07	3.32	3.96	4.65	5.51			
備 考			県の値	県の値	県の値	県の値	県の値	国・県出現率未公表	※	
指 標 ⑤		指標の説明								
英検補助対象受検者数における合格者の割合	教育部	%		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績値			58.9	61.6	58.7	54.0	60.9	60.8		
期待値 ※R7は目標値			58.9	59.4	59.9	60.4	60.9	61.4	62.0	
備 考										
指 標 ⑥		指標の説明								
肥満の割合(肥満度20%以上)	教育部	%		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績値			10.1	11.39	11.68	13.44	12.68	12.03		
期待値 ※R7は目標値			10.1	9.9	9.7	9.6	9.4	9.2	9.0	
備 考										
指 標 ⑦		指標の説明								
肥満の割合(肥満度20%以上)	教育部	%		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
実績値			11.5	11.62	10.19	11.39	11.22	10.87		
期待値 ※R7は目標値			11.5	11.3	11.0	10.8	10.5	10.3	10.0	
備 考										
指 標 ⑧		指標の説明								
				R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			実績値							
			期待値 ※R7は目標値							
			備 考							
指 標 ⑨		指標の説明								
				R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			実績値							
			期待値 ※R7は目標値							
			備 考							
指 標 ⑩		指標の説明								
				R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			実績値							
			期待値 ※R7は目標値							
			備 考							
指 標 ⑪		指標の説明								
				R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			実績値							
			期待値 ※R7は目標値							
			備 考							
指 標 ⑫		指標の説明								
				R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			実績値							
			期待値 ※R7は目標値							
			備 考							
指 標 ⑬		指標の説明								
				R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			実績値							
			期待値 ※R7は目標値							
			備 考							
指 標 ⑭		指標の説明								
				R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			実績値							
			期待値 ※R7は目標値							
			備 考							
指 標 ⑮		指標の説明								
				R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
			実績値							
			期待値 ※R7は目標値							
			備 考							